

第56回 熊本県芸術文化祭参加

喜多流

相光の能

能 安宅

シテ 狩野 了一

勸進帳と名づけつゝ  
高らかにこそ  
読み上げられ

2014年11月30日(日)

開場12時 開演午後1時

熊本県立劇場演劇ホール

熊本市中央区大江2-7-1

入場料

◆S席 ¥10,000 ◆A席 ¥8,000 ◆B席 ¥6,000 ◆自由席 ¥4,000 ◆学生券 ¥2,500 (自由席のみ)

問い合わせ / 狩野事務所 TEL096-325-6686 / FAX096-325-6690

TEL090-4486-1782(山下)

県立劇場 TEL096-363-2233

主催 / 能「安宅」を観る実行委員会

共催 / 熊本県文化協会・熊本喜多界・熊本喜秀会・桐光会

後援 / 熊本日新聞社・NHK熊本放送局・RKK・KAB・FMK

# 桐光の能

## 番組

舞囃子

### 三笑

狩野 琇鵬

(大鼓) 白坂 信行 (太鼓) 田中 達  
(小鼓) 飯田 清一 (笛) 松田 弘之

高林 昌司 高林 伸二

(地謡) 栗谷 充雄 中村 邦生

佐々木多門 金子敬一郎

狂言

### 萩大名

シテ(大名) 野村 万禄

アド(太郎冠者) 吉住 講  
小アド(亭主) 吉良 博靖

仕舞

### 松風

友枝 昭世

佐々木多門  
金子敬一郎  
(地謡) 栗谷 能夫

### 野守

塩津 哲生

栗谷 充雄

休憩 二〇分

能

ツレ(義経の郎党) 栗谷 浩之

ツレ(義経の郎党) 友枝 真也

ツレ(義経の郎党) 狩野 祐一

ツレ(義経の郎党) 谷 友矩

ツレ(義経の郎党) 佐藤 寛泰

ツレ(義経の郎党) 塩津 圭介

ツレ(義経の郎党) 内田 成信

ツレ(義経の郎党) 友枝 雄人

子方(源 義経) 友枝 大風

### 安宅

シテ(武蔵坊弁慶) 狩野 了一

ワキ(富樫甚 福王 和幸)

オモエ(強力) 野村 万禄

アドアイ(太刀持) 吉住 講

(後見)

塩津 哲生

高林 伸二

(大鼓) 白坂 信行

(小鼓) 飯田 清一 (笛) 松田 弘之

渡辺 康喜

笠井 陸

栗谷 充雄 栗谷 能夫

金子敬一郎 友枝 昭世

佐々木多門 中村 邦生

終了予定 四時過頃

### 萩大名 あらすじ

田舎大名が帰国の前に、太郎冠者の案内で、ある庭園に萩の花見に出かけます。当座に和歌を所望された場合を予想して、太郎冠者が聞覚えの一首「七重八重九重とこそ思ひしに十重咲き出づる萩の花かな」を教えるが、大名には覚えられません。そこで、一句一句物になぞらえておき、その場で合図を送ることに決めておきます。いざ庭園に着くと、大名は、庭の景色をほめるにも失言を重ね、肝心の歌もしどろもどろ。あきれた太郎冠者は途中で退散してしまします。一人残された大名はさて……

### 安宅 あらすじ

平家追討後、兄頼朝から追われる身となった義経(子方)。主従ともに偽山伏となり、弁慶(シテ)を先達にして奥州へ落ちのびようとします。義経捕縛のため国々に新しく関所が設けられ、加賀国(石川県)安宅の関では富樫某(ワキ)が関を守っています。義経一行は安宅に着くと、弁慶の計らいにより、南都東大寺大仏建立勸進のための一行として通ろうとしますが、富樫は全員斬り殺すと言い許しません。それではと最期の勤行をしようと富樫は勸進帳を読みと言います。弁慶は持ち合わせた巻物を勸進帳と偽って読み上げます。その迫力に気圧された富樫に一度は通過を許されますが、義経の姿を見とがめられ追求を受けます。しかし弁慶の機転と豪勇により、その場を逃れることができます。関を離れ皆で一息つき、義経の身の不運を嘆いていると、そこに先刻の関守が非礼を詫ひるために酒をもって後を追ってきます。酒宴となっても弁慶は油断せず、力強い舞を舞い、富樫に暇を告げ、一行に先を急がせます。